

# 読者ふれあいページ

「こちら虹」は楽しかったこと、感動したことをつづってください。「お助け倶楽部」るアイデアやお知恵をお寄せください。紙上電話番号を明記ください。

## 生者必滅・会者定離

出雲市斐川町・仁照寺住職

江角 弘道

人間を感動させるのは、むずかしい言葉ではなくて、実はやさしい簡単なことばです。釈尊が残された簡単な言葉のひとつが「生者必滅・会者定離」という言葉です。生まれた者は必ず死に、この世で出会った者とは、必ず別れるという意味です。「生者必滅」は、老少不定の習いともいわれ、生まれた順に死んでゆくわけではありません。無常の風が吹けば、若い人でも亡くなります。私の娘・真理子は、20歳のときに、交通犯罪により突然に亡くなりました。子が親より先に亡くなることを逆縁といいます。私たち夫婦は、逆縁に遭いました。亡き娘のことを思い毎日お経を読んでいます。あるとき、次のような気持ちに行き当たりました。それ

# 混迷・生きる

教えの庭から

は、私が結婚する前には、真理子はこの世には存在しなかったという事です。そして1979年に次女として生まれ、私たちと20年一緒に暮らし、突然に死んで、またこの世からい



挿絵 平尾恵郷

なくなりました。よく考えてみれば、当たり前な事実です。でも、この命に当てるは、私に次

と帰っていった。つまり並べかえて「空即是色 色即是空」とすれば、空↓色↓空と展開しており、娘は「空」から来て「色」となり、そして「色」からまた「空」に帰ったということになります。その気付きを経て、「色即是空」の意味をより深く考えるようになりました。

は、多くの人たちからお悔やみの言葉を頂きました。その中に、若き日に仏通寺で藤井虎山老師のもとで、共に参禅した友人から届いたはがきがありました。その文面にはシンプルに「会者定離 さはさりながら窓の雪」と俳句だけが書いてありました。ですが私に